

1 単元名 物語の`深イイ`をポスターで伝えよう

教材名「ごんぎつね」新美南吉 作

2 単元について

〈本単元で取り上げる指導事項〉

Ｃ読むこと (1)ウ 場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化、情景などについて、叙述を基に想像して読むこと。

オ 文章を読んで考えたことを発表し合い、一人一人の感じ方について違いがあることに気付くこと。

〈教材の特質〉

本教材「ごんぎつね」は、「いたずらばかりしているごん」が、「兵十に償うごん」へ、さらに「同じ境遇である兵十へ心を寄せるごん」へと変容していく物語である。ごんと兵十の気持ちを捉えることこそ、この物語の一番の教材価値といえる。また、最後の一文に代表されるように読み手の想像力をかきたてる情景描写が多くあり、より登場人物の気持ちを深く読み取らせることに適している。物語の結末は、ごんと兵十の気持ちのすれ違いによって悲劇で終わっており、その終わり方についても多様な感想を引き出すことができる教材であるといえる。

補助教材として、新美南吉の作品や登場人物の心情に迫れるような作品を教室に準備することで、読書の幅を広げ、友だちと感想を交流することによって、自分の考えを広げたり深めたりすることも期待できる。

〈本単元に関わる子どもの実態〉

- ・児童全員が、物語の中心人物をとらえることができている。
- ・3年生教材「サーカスのライオン」「ゆうすげ村の小さな旅館」では、あらすじを書くことに支援が必要な児童がいた。
- ・1学期教材「走れ」では、中心となる人物の気持ちの変化について、根拠となる叙述を見つける場面で大体は読み取れたが、それを説明することを苦手としている児童がいた。
- ・朝読書では、落ち着いた雰囲気での読書をしている。しかし、読書量にはかなりの差があり、読んでいる本の内容の難易度も差が大きい。
- ・生活体験が少なく、語彙が少ない児童がおり、学習の中で国語辞典をひいて意味を調べたり、説明したりしている。

〈つきたい力〉

○場面の移り変わりに注意しながら、登場人物の性格や気持ちの変化について、叙述を基にして想像を広げ、読むことができる。

- ・アニメーションによって、物語のあらすじをつかむ。
- ・登場人物性格診断を行い、登場人物の性格や特徴を考えて読む。
- ・叙述を基に、ごんや兵十の行動や心情になぜそのような変化が起きたのか考えて説明することができる。

○いろいろな物語を読んで、中心となる人物の性格や気持ちの変化について読み取り、表現することができる。

- ・あらすじ、`深イイ`場面、キャッチコピー、登場人物の性格診断をポスターにまとめ発表し合い、一人一人の感じ方について違いがあることに気づく。

## つけたい力の明確化

### ○つけたい力の系統性

| 【既習】                             | 【本単元】                              | 【次単元】                         |
|----------------------------------|------------------------------------|-------------------------------|
| ・中心となる人物と気持ちの変化を考えながら読み、感想を伝え合う。 | ・中心となる人物とほかの人物との関わりについて考え、感想を伝え合う。 | ・物語の構成や表現の工夫を見つけて、作品のよさを解説する。 |

○学習用語 あらすじ、作者・語り手、場面、段落（文のまとまり）、会話文

## 単元展開の工夫

単元の導入では、中心人物とほかの人物との関わりに着目した本のブックトークを行い、第3次であらすじ等を書かせたポスターを作ることをゴールイメージに持たせる。また、新美南吉の作品や物語の登場人物の心情に迫ることができるような本を紹介し、並行読書に取り組むことでお気に入りの本をポスターで表現することに興味を持たせたい。

第2次では、まず、アニメーションで物語のあらすじをとらえ、「性格診断」で物語の人物像について考えていく。話し合いの中では、叙述を基にして説明するようにする。次に、「つぐない」をキーワードに自分がごんだったらどんな行動をとっていたか考えることを通して、ごんのつぐないについて考える。最後には、互いの心に残った場面や深い場面はどこになるのかを話し合うことで想像をふくらませ、物語のその後を考えていく。

第3次では、お気に入りの本を選び、お気に入りポスターを作って友だちに紹介する。学習したことを活かし、あらすじや性格診断などをまとめて作成する。互いの発表を通して、一人一人の感じ方に違いがあることに気づかせたい。

## 主体的な学びをつくる工夫

- ・学習が見通せるように学習計画をたて、毎時間本時の位置を確認できるようにする。（個人、全体）
- ・作品で登場する難解な語句（昔の言葉）について図や写真を使って教室に掲示し、イメージを持たせる。
- ・アニメーションを取り入れて、あらすじを楽しくつかませるようにする。
- ・二人の性格を表すキーワードを選び、それぞれを個人で得点化する。次に、グループで自分の考えを出し合い、班としての意見をまとめることを通して、叙述をもとに根拠を探し出す。最後には、全体での話し合いにつなげていく。
- ・図書館と連携して読書コーナーを設置し、関連図書を並行読書できるようにし、第3次にスムーズに取り組めるようにする。
- ・話し合いでは、「学び合いのスキル」を使って話し合いが深まるように促す。

〈本単元の目標と評価規準〉

|      |   |  |                                     |
|------|---|--|-------------------------------------|
| 目標   | ○登場人物の性格や気持ちの変化などについて、叙述を基に想像して読み、一人一人の感じ方に違いがあることに気づく。                           |  |                                     |
| 評価規準 | ア 国語への関心・意欲・態度  | エ 読む能力   | オ 言語についての知識・理解・技能                   |
|      | ① 物語を読むことに興味を持ち、中心となる人物の気持ちの変化を考えようとしている。<br>② 自分の選んだ物語で、人物の気持ちや性格の変化を紹介しようとしている。 | ① 中心となる人物の性格や気持ちの変化などを、叙述を基に想像して読んでいる。<br>② 物語を読んで感じたことや思ったことを発表し合い、一人一人の感じ方に違いがあることに気づいている。 | ① 物語を読み取ったり、紹介したりするために必要な語句を増やしている。 |

4 単元構想 (全11時間)

|                   | 次  | 主な学習活動  | 評価規準【 】と評価方法( )                              |
|-------------------|--|---|--|
| つかむ               | ○新美南吉の作品やきつねが登場する作品の読書コーナーを作り、読書への興味を高める。<br>○ごんぎつねコーナーを教室に掲示して、作品への理解を深める。(びく、ひがん花など) |   |  |
|                   | 一  | 「『深イイ』ポスター」を作り、お気に入りの本を伝え合う学習計画を立てる。  |  |
|                   | 1  | ○ブックトークを聞き、本を選び、その本の『深イイ』場面でポスターを作り、自分の考えを友だちに伝える学習計画を立てる。                            | 【関①】「ごんぎつね」に興味を持ち、進んで読書に取り組もうとしている。(発言・行動観察) |
|                   | 2  | ○物語を通読し、人物どうしの関係をとらえながら初読の感想を伝え合う。  | 【関①】「ごんぎつね」を読んで、感想を伝えようとしている。(ノート・発言)        |
| 取り組む<br>・<br>ふり返る | 二  | 「ごんぎつね」の登場人物の相互関係や心情を「性格診断図」にまとめたり、心に残る場面を伝えあう活動を通して、中心となる人物の心情の変化・物語の『深イイ』場面について考える。 |  |
|                   | 3  | ○アニメーションで、登場人物と出来事の大体をつかみ、あらすじを書く。  | 【読①】叙述をもとに出来事の大体を読み取っている。(ワークシート・発言)         |
|                   | 4・5  | ○登場人物「性格診断」で、登場人物の性格やその根拠を叙述を基にグループ・全体で話し合う。  | 【言①】登場人物の心情を読み取るために叙述を手がかりにしている。(ワークシート・発言)  |

|     |   |  |   |
|-----|---|--|---|
|     | 6   | ○ごんが行っていたつぐないについてまとめ、自分の考えを話し合う。                   | 【読②】 ごんのつぐないを見つけるとともに、自分ならどうしていたか考えてまとめている。<br>(ワークシート・発言)                  |
|     | 7   | ○心に残った場面について、叙述をもとにして選んだ理由を話し合う。                   | 【読②】 物語を読んで考えたことを分かりやすくまとめている。<br>(ワークシート・発言)                               |
|     | 8<br>(本時)   | ○物語の一番`深イイ`場面がどこか話し合う。                             | 【読②】 物語の深イイ場面がどこになるか、叙述を根拠にして自分の考えを説明している。<br>(ワークシート・発言)                   |
|     | 9   | ○物語のその後はどうなったか考え、交流する。                             | 【読②】 想像を広げて、読んでいる。<br>(ワークシート・発言)   |
|     | 三   | お気に入りの物語の`深イイ`ポスターを作り、自分の考えをまとめて伝え合う。              |   |
|     | 1 0   | ○選んだ本の中心人物の心情を読み取りながら`深イイ`ポスターを作成する。               | 【言①】 物語を紹介するために、必要な語句を増やしている。<br>(ワークシート・行動観察)                              |
|     | 1 1   | ○完成した「`深イイ`ポスター」を使って、読んだ本の登場人物の相互関係や心情、自分の考えを伝え合う。 | 【関②】 いろいろなポスターの説明を聞いて、本に興味を持つとともに、一人一人の感じ方に違いがあることに気づいている。<br>(ワークシート・行動観察) |
| 広げる | ○叙述に着目して本を読むことができる。<br>○中心人物の心情について想像を膨らませて読むことができる。<br>○友だちの`深イイ`ポスターを見て、いろいろな本に興味を持つ。 |  |   |

4 本時の学習

(1) 目 標 物語の`深イイ`場面がどこか、叙述を根拠にして想像を広げ、考えることができる。

(2) 準 備 教師：ワークシート、掲示用場面絵 児童：ワークシート

(3) 学習過程

| 学習活動と教師の働きかけ<br>・予想される児童の反応   | ○留意点と評価<br>(観点)【評価方法】  |
|---|--|
| <p>1 前時までの学習を振り返り、本時のめあてを確認する。</p> <p>深イイ→いい話、感動、考えさせられる</p>  | <p>○前時の学習を想起させる。</p> <p>○最も深イイ場面はどこか話し合うことを伝え、児童への意欲付けをする。</p> <p>○深イイという言葉の意味を確認する。</p>   |
| <p>め) 物語の一番`深イイ`場面を考えよう</p>   |  |
| <p>2 グループで話し合う。</p> <p>p 1 7 L1 2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あなに帰って後悔するごん<br/>ごんの後悔</li> </ul> <p>p 2 1 L2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つぐないをつづけるごん<br/>失敗してもあきらめない<br/>気づかれなくても</li> </ul> <p>p 2 6 L 1</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・兵十にうたれるごん<br/>やっとわかりあえた<br/>だまっとうなずく (最後の力で)<br/>感動する</li> </ul> | <p>○家庭学習で事前に場面を選び、理由を書かせておく。</p> <p>○討論しやすくなるよう意見が対立するようなグループを編成する。</p> <p>○司会者を決めて、班の話し合いが円滑に進行するよう促す。</p> <p>○話し合いのスキルを使いながら、話を進めていくように声掛けをする。</p> <p>○話し合い後、考えが深まったり、広がったりした友だちの意見をノートにメモするよう促す。</p> <p>○登場人物の心情に迫った読み取りをしている児童には、肯定的評価をして、自分の考えがうまく表現できない児童には、言葉を補ったり、掲示を見返したりして考えるよう促す。</p> <p>○グループの話し合いの時では、座席表を使って、それぞれの考えをメモし、全体での意図的指名につなげる。</p> |
| <p>3 全体で話し合う。</p> <p>p 1 7 L1 2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・あなに帰って後悔するごん<br/>ごんの後悔 →心の変化</li> </ul> <p>p 2 1 L2</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・つぐないをつづけるごん</li> </ul>  | <p>○全体の意見がごんがうたれた場面に偏っている場合には、なぜ悲劇で終わっているのになぜ深イイ場面といえるのか問いかけ、その場面を選ぶ根拠を考えさせる。また、作者は何を伝えたかったのか問いかける。</p> <p>○ごんがうたれた場面以外を選んだ児童にも、その考えを認め、それぞれが終末に向かって不可欠な</p>   |

失敗してもあきらめない  
気づかれなくても→気持ちのすれちがい

p 26 L 1

・兵十にうたれるごん  
やっとわかりあえた  
だまってうなずく（最後の力で）  
感動する

↓

正体はぼく  
悲しいけど最後はわかりあえた  
もうもどらない、命の大切さ

4 ワークシートに深イイ場面の説明を書く。  
この物語の一番`深イイ`場面は、  
[ ] 所です。ごんは打たれて死んでしまったけれど…

5 学習のまとめをする。  
児童の振り返り  
全体の振り返り

要素であることをおさえる。

【評価】物語の深イイ場面がどこになるか、叙述を根拠にして自分の考えを説明している。

(読む能力) [発言]

○説明を書くときの支援として、板書やノートを振り返るよう促す。

○今までの学習で物語について読み取りが深まったことを評価しつつ、物語のその後はどうなっていると思うか投げかけることで次時への意欲付けとする。

物語の`深イイ`をポスターで紹介しよう  
ごんぎつね 新美南吉

(いい話、感動、考えさせられる)

④物語の一番`深イイ`場面を考えよう

あなに帰って後かいするごん

p 17 l 12

ごんの後悔 ↓ 心に変化

つぐないを続けるごん

p 21 l 2

失敗してもあきらめない  
気づかれなくても

↓ 気持ちのすれちがい

兵十にうたれるごん

p 26 l 1

やっとわかりあえた  
だまってうなずく  
(最後の力をふりしぼって)

感動

← つぐないの正体は自分だ

悲しいけど、わかってもらえた  
もうもどらない  
命の大切さ

一番`深イイ`場面は「 」です。  
ごんはうたれて死んでしまったけれど…